

# “日本のひなた宮崎”を堪能

## 大学17回生

大学17回生の第8回同期会が

平成28年10月26～27日、宮崎市青島で開催された。今年の九州は4月の地震に始まり大変でしたが、九州復興を願い、“日本のひなた宮崎”らしい眺望のなか



紅一点の生田さんを中心に記念撮影

で伊勢海老と地酒、更に新発見をテーマに、大分組も加勢して開催にこぎつけた。

宴は宮崎在住の日高君の歓迎挨拶に始まり、初参加の廣田・小倉君、紅一点の生田さん、清水長老ほか24名の近況報告等を話題に、様々な宮崎焼酎を嗜みながら、いつものように盛り上がった。中締めには校歌を斉唱したあと二次会へ。まず中西・日高君が限定焼酎の饗宴を注いで回り、香りと風味を賞味したあと、清酒・四極など、そしてカラオケを楽しみ、寮歌、逍遙歌、坊がつる賛歌で締めた。その後、世話人の部屋でオダビール3種を常温で飲み、キンキンとした喉越しではなく、香りとコクと色を楽しみながら深夜に及んだ。

翌日、ゴルフ組は宮崎CCCで競ったが、深いラフなどの女子プロ最終戦直前の仕様に各々苦勞した。優勝は後半の頑張りです。HDに恵まれた日高君、幻の麦

焼酎・百年の孤独を獲得し喜んでいた。準優勝はダブルペリアに常に強い坂本君、3位は僅差で、堅実なプレーの宮田君でした。散策組はまず、酒泉の杜で黒木グラスアートを鑑賞したあと、様々な試飲を楽しんだ（竹上・長尾君が吟味に熱心だったようだ）。その後、西都原の考古博物館・鬼の窟古墳・コスモス園・平和台公園を回り、昼食は老舗・入船で鰻の絶妙な焼き加減と呉汁の美味を堪能し、新しい宮崎に満足したという感想をいたした。この他にも、前泊した6名が幻想的なホシゾラ★ゴルフと宮崎の夜を満喫した。

次は関西地区で開催予定。全員が古希越えとなりましたので、元氣にして再会に備えましょう。

### ▼参加者（敬称略）

（関西）長谷川浩二、鍵本明

坂本直、米田民雄、後藤克己

（関東）生田陽代、栗林保幸、田川俊夫、竹上英文、溝辺憲治

宮田豊

（九州）田代勝、椿原丈夫、廣

田務、伊坂信隆、小倉安弘、清

水紘一郎、油布忠、天本孝久、

柴田宏二、中西昌昭、長尾徹

日高康貴、小田哲生

（小田哲生 記）